

# あがの 市議会だより

第65号

令和7年  
**12月** 定例会号  
令和8年1月16日 発行

## 主な内容

議案ピックアップ・議決結果	P2
常任委員会の活動報告	P3-4
市政を問う一般質問(13人)	P4-7
次回定例会の予定ほか	P8



本年もよろしくお願い申し上げます

10月7日に  
臨時会が開かれました

12月定例会が  
12月8日～16日の  
会期で開かれました

8日 本会議  
■一般行政報告  
■議案の提案説明  
■一般質問1日目（5人が質問）

9日 本会議  
■一般質問2日目（6人が質問）

10日 本会議  
■一般質問3日目（2人が質問）

12日 各常任委員会  
■委員会に付託された議案審査等

16日 本会議  
■各常任委員会の審査報告の後、  
討論を経て採決  
※議決結果は2ページ



阿賀野市議会議長 大滝 勝



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。  
市民の皆さんにおかれましては、穏やかな新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、市政ならびに市議会の取り組みに対し、温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、阿賀野市では幸いにも大きな災害に見舞われることなく一年を過ごすことができました。一方、全国的な自然環境の変化の影響もあり、クマの出没が多発するなど、市民の皆さんにご心配やご不安をお掛けする場面もございました。日頃から注意を払い、地域で安全に気を配っていただいたことに、あらためて感謝申し上げます。

まちづくりの面では、クリーンセンターあがのがわの供用により、環境に配慮した安定的な廃棄物処理体制が整いました。また、念願でありました阿賀野バイパスが全線開通し、所要時間の短縮だけでなく、地域産業の発展につながるものと大いに期待しております。

このような施設整備も平穡な日々も、全ては市民の皆さんのお力添えがあつてこそ、かなえられたものであります。

議会としても、引き続き市民の声に丁寧に耳を傾けながら、皆さまの暮らしがより安全・安心で、より豊かになるよう取り組みを進めてまいります。結びに、皆さまの日々が笑顔と温かさに満たされた一年となりますよう、そして阿賀野市がうま年の勢いにあやかり、さらに前進することを願い、新年のごあいさつといたします。

## 議案ピックアップ

提案された議案について、さまざまな視点から審議を重ねます。  
12月定例会で審議した議案の中からお知らせします。

### 一般会計補正予算(第6号)

#### 主な内容

##### ○アーバンベア捕獲緊急対策事業費 618万円

人の生活圏に出没するクマを集中的に捕獲するために要する費用を計上。

##### ○小中学校長寿命化等改修事業費 384万円

京ヶ瀬中学校グラウンド整備に先立ち行われる電柱移設の支障となる樹木の伐採費用等を計上。

### 阿賀野市子育て支援施設設置条例の一部改正について

令和8年4月1日から子育て支援施設において、乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)を実施するため、所要の改正を実施。

### 阿賀野市火災予防条例の一部改正について

令和7年2月26日に発生した大船渡市林野火災を受け、消防庁が開催した「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」の報告書において、林野火災注意報や林野火災警報の的確な発令等によって林野火災予防の実行性を高めることが必要であると示されたため、所要の改正を実施。

## 12月定例会の議決結果をお知らせします

### 10月7日臨時会

議 案 名		審査した委員会※	議決結果
予算正	令和7年度阿賀野市一般会計補正予算(第5号)	省略	可決

### 全会一致で議決した議案等

### 12月定例会

議 案 名		審査した委員会※	議決結果	議 案 名		審査した委員会※	議決結果
人事	阿賀野市農業委員会委員の任命について(小柳 浩氏)	省略	同意	条例	阿賀野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	産厚	可決
補正予算	令和7年度阿賀野市一般会計補正予算(第6号)	総文 産厚	可決		阿賀野市子育て支援施設設置条例の一部改正について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	産厚	可決		阿賀野市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	産厚	可決		阿賀野市子ども・子育て支援法第82条の規定による過料に関する条例の一部改正について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市介護保険特別会計補正予算(第2号)	産厚	可決		阿賀野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市水道事業会計補正予算(第2号)	産厚	可決		阿賀野市火災予防条例の一部改正について	総文	可決
	令和7年度阿賀野市下水道事業会計補正予算(第1号)	産厚	可決		阿賀野市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	省略	可決
	令和7年度阿賀野市病院事業会計補正予算(第1号)	産厚	可決		阿賀野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	省略	可決
	令和7年度阿賀野市一般会計補正予算(第7号)	省略	可決		阿賀野市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部改正について	省略	可決
	令和7年度阿賀野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	省略	可決		阿賀野市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	省略	可決
条例	令和7年度阿賀野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	省略	可決		阿賀野市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	省略	可決
	令和7年度阿賀野市介護保険特別会計補正予算(第3号)	省略	可決	その他	新潟県市町村総合事務組合規約の変更について	総文	可決
	令和7年度阿賀野市水道事業会計補正予算(第3号)	省略	可決		公の施設に係る指定管理者の指定について(阿賀野市赤坂地区コミュニティ公園)	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市下水道事業会計補正予算(第2号)	省略	可決		市道路線の認定について	産厚	可決
	令和7年度阿賀野市病院事業会計補正予算(第2号)	省略	可決	請願	地域ボランティア活動に対する支援(ポイント付与事業)の継続を求める請願	総文	不採択
	阿賀野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	総文	可決	発議	阿賀野市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	省略	可決
	阿賀野市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総文	可決	※省略：本会議で即決したもの 総文：総務文教常任委員会 産厚：産業厚生常任委員会 各委員会での審査結果は市ホームページでご覧になれます。			
	阿賀野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	産厚	可決				
	阿賀野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	産厚	可決				

### 意見が分かれた議案等

### 12月定例会

○：賛成 ×：反対 議長(大滝勝)は採決には加わりません。

議 案 名			委審査した委員会※	議決結果	公明党	日本共産党			新風あがの						会派の所属なし		
条例	討論(要旨)	反対意見	村上 清彦	富脇 雅夫	松崎 良繼	清水 博英	風間 輝榮	市川 敏	天野美三男	遠藤 季	荒澤 浩和	阿部 順三	披田野勝幸	菅原 道明	遠藤 駒子	清野 栄一	天野 市榮
	阿賀野市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	省略	可決	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議員	地域ボランティア活動に対する支援(ポイント付与事業)の継続を求める請願	総文	不採択	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

## 議会の情報は市ホームページをご覧ください

阿賀野市議会

検索

●中継はこちる



本会議議録や議員名簿、会議の日程、本会議の中継映像・録画映像がご覧いただけます。ぜひご利用ください。



会議名、議員名、用語などから検索できます。視聴したいものを選んでクリック！



## 議会を傍聴しませんか

事前の申し込みは不要です。傍聴席入り口にある受付簿に住所・氏名を記入して傍聴してください。

※現在、感染症予防のため、傍聴席の席数を減らしています。

※体調がすぐれない人は、傍聴をご遠慮ください。※入室の際は、手指消毒をご協力をお願いします。



# 常任委員会の活動

市の仕事を2つに分け、関係する議案等の審査や調査を行います。阿賀野市では議員1人が1つの委員会に属しています。

## 総務文教 常任委員会

令和7年9月24日に所管事務調査を行いました

### 廃校の利活用について

総務部と民生部が所管する市政全般の企画・調整、財務、市税、防災、教育、生涯学習等に関する調査や議案・請願等の審査を行います。

#### 廃校施設の現状

平成21年に寺社小学校と大和小学校、平成26年に前山小学校、平成29年に山手小学校と赤坂小学校、そして令和5年に分田小学校と安田幼稚園、出湯保育園が閉校・閉園となり、令和7年3月31日時点で、小学校が計8施設が閉校・閉園状態となっています。

#### 現在の利用状況

寺社小学校と大和小学校の校舎は、旧耐震基準による建築物であるため安全性の担保が取れおらず、常時人が入居する状態での貸し付け等は現在控えています。そのため利用できる施設は、一般企業への貸し付けを行っている赤坂小学校と、定期利用団体が使用している4つの体育館を除くと、前山小学校、分田小学校校舎、安田幼稚園、出湯保育園の4施設となっています。

#### 寺社スケートボードパークの開設まで

寺社小学校の体育館やグラウンドの活用事業について、令和6年7月に提案募集を行ったところ、1社から応募があり、審査を経て、優先交渉権者を同会社AOエステートに決定しました。その後、文部科学省利活用の報告手続きを経て、令和6年10月に令和11年10月までの5年間

ツ少年団や一般市民などがグラウンドでサッカーや野球など気軽に楽しく有効活用できるよう、除草・整地などの整備を市の責務で行うこと。

の賃貸借契約を取り交わし、設備等の設置期間を経て、令和7年7月に寺社スケートボードパークの開設に至りました。

現在は、大手スポーツ会社と連携を取りながら活動し、小学生や青少年を対象に、週末をメインとしたスクールや体験会自由滑走に利用している状況です。

施設の老朽化や体育館の避難所指定、体育館の定期利用団体利用により、活用を検討する事業者の意向に沿った貸し出しができない、比較的新しい施設の貸出料が割高となるなどの課題があります。

そのためにも、利用されていない土地や廃校などの公共施設の処分・利活用対策に、より一層全庁挙げて取り組むよう意見集約されました。

寺社スケートボードパーク開設までの経緯の説明を受けた後に現地へ出向き、運営会社の涌井代表社員から説明を受けるとともに、活用の様子を視察しました。

視察後の委員の意見としては、夏季期間の暑さ対策として、移動式エアコンの設置について、市と協議・検討（貸与）すること。

・校庭内侵入口から体育館（スケートボードパーク）入り口までの草刈り・美化対策と併せ、地元のスポーツ

ツ少年団や一般市民などがグラウンドでサッカーや野球など気軽に楽しく有効活用できるよう、除草・整地などの整備を市の責務で行うこと。

## 産業厚生 常任委員会

令和7年10月22日に所管事務調査を行いました

### 地域計画と農業の担い手不足に対する取り組みについて

#### 地域計画について

地域計画とは、農業経営基盤強化促進法の改正により、高齢化や人口減少による農業者の減少、耕作放棄地の拡大といった

逼迫の大きな要因となり、市存続そのものに影響を与える解決すべき喫緊の課題・問題であります。

そのためにも、利用されていない土地や廃校などの公共施設の処分・利活用対策に、より一層全庁挙げて取り組むよう意見集約されました。

民生部と産業建設部が所管する福祉、介護、子ども、保健、医療、環境、道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する調査や議案・請願等の審査を行います。

は、現況地図がほとんどです。

10年後、耕作者が減少し、残った耕作者や集落で話し合い、農地を守っていくために目標地図のブランシッシュアップの取り組みが必要です。

農業の担い手不足は全国的な問題ですが、特に中山間地域は非常に厳しく、現実的にあと数年で後継者、担い手がいなくななる状態のため、地域農業を守るために取り組みは急がれるべきだと思います。国がそれなりの施策等をするべきですが、市としても引き続き地域と一緒に取り組んでほしい。また、農業従事者が減っていく、資金面では、市内で研修を受けながら最長で2年、また、がんばる農家支援事業で最長3年の支援を行っています。

P.R活動としては、首都圏などで開催される「農業人フエア」などへ出向いて就農相談などをを行い、お試し移住や農業体験につなげています。さらに、有機農業の取り組みや新規就農者を紹介する動画を作成し、市ホームページに掲載することで、問い合わせが増加しています。また、現在笹神支所で農地農業相談会を実施しています。

今後も、農林課、農業委員

会、農業協同組合、土地改良区等の関係機関で協力しながら取り組みを進めていきたいと思います。

農業の担い手不足は全国的な問題ですが、特に中山間地域は非常に厳しく、現実的にあと数年で後継者、担い手がいなくななる状態のため、地域農業を守るために取り組みは急がれるべきだと思います。国がそれなりの施策等をするべきですが、市としても引き続き地域と一緒に取り組んでほしい。また、農業従事者が減っていく、耕作面積が増えてくるという中で、それを支えるような支援が必要だと意見集約されました。



## 産業厚生常任委員会 視察研修

令和7年10月2日に視察研修を行いました

### ○山形県鶴岡市

#### 鶴岡市立農業経営者育成学校 新規就農者確保の取り組みについて

鶴岡市は平成17年に6市町村が広域合併してできた市で、基幹的農業従事者は4,640人、経営耕地面積は15,502haです。令和5年の農業産出額は286.2億円で県内1位、東北7位で、米が約45%、園芸作物が約43%と、米と園芸の両輪で農業産出額を支えています。

直近5年で、基幹的農業従事者数は年平均163人がリタイア、1経営体当たりの経営耕地面積(経営規模)は16%増、新規就農者数は年平均44人で、農業従事者の減少は続いている。

鶴岡市立農業経営者育成学校(SEADS)の特徴として、農業技術の指導にとどまらず、実際の農家への実習を通して、農家の生活リズム、出荷調整や作業をスムーズに行うノウハウなど、現場で必要な実務を習得させるカリキュラムになっています。地域に根ざした農家との連携により、座学だけでは得られない「生きた知識」を効果的に提供し、研修生が市内の現場で実習を行うことで、卒業後すぐに地域に貢献できる即戦力となる新規就農者を育成し、毎年10人弱の卒業生を送り出しているとのことでした。

行政の役割として、行政が単独で研修を行うのではなく、地域全体を巻き込んだ育成システムを構築・支援している点が、効率的かつ持続可能な担い手確保策のモデルとして参考になりました。

市が中心となりつつも、県、農業協同組合、地元の農家等の他のリソースを最大限に活用しており、地域資源の活用として、既存の産業資源(熟練農家、地元企業など)を「教育資源」として位置付け、行政がそのマッチングと運用を支援することで、限られた予算の中でも効果的な人材育成を実現できるほか、「座学+実践」の統合モデルとして、農業分野で成果を上げているこのモデルを、地域の伝統工芸や観光サービス業など、他の産業の担い手育成プログラムにも応用すべきだと考えます。

卒業生を毎年10人弱送り出していることについて、予算的にこの人数が適正かどうかは議論の余地がありますが、毎年100人程度の離農者がある現状で、10人弱を確保できる点は評価でき、また、多方面における地域の担い手としての活躍も実績があることから、この成果は新規就農者確保以上の効果が認められ、他の事業への波及効果も十分に期待できると思いました。



## 総務文教常任委員会 視察研修

令和7年10月8日・9日に視察研修を行いました

### ○宮城県加美町

#### 廃校施設の利活用について(国立音楽院)

加美町では、小中学校の再編に伴い、廃校となった施設の跡地利活用の検討をしていました。

そのような中、国立音楽院から提案のあった「地方創生に関する音楽と福祉の構想」事業に町長が興味を持ったことをきっかけに、誘致の協議を始めました。

国立音楽院のために町が支出している費用は、音楽技能習得施設に関係するような改修や備品の購入、イノシシ防護柵の設置、スクールバスの準備、寮の整備のための補助金拠出、学生の家賃補助などです。

学生は、ランチ会やバーベキューの開催、小学校での楽器指導、地元高校の吹奏楽部との合同演奏会などを通じて地元住民と交流しています。

また、地元住民からアルバイトとしての労働力も期待されています。

### ○宮城県川崎町

#### 廃校施設の利活用について(ikuto、イーレ！はせくら王国)

川崎町の廃校施設で活用されているのは5つで、複合型アーバンスポーツ施設やカフェなどの地域交流施設、子どもたちのアウトドア体験会場として活用されています。

廃校施設を利活用するに当たり、開催した地元区長との意見交換や地元説明会で、地域活性化につながるような事業内容がよいといった意見があり、企画の提案を募集しました。

旧川内小学校体育館を改修した「ikuto」は、スケートパークとして活用を開始し、現在は旧校舎やグラウンドで他のアーバンスポーツ施設やカフェも開業しています。

旧支倉小学校校舎では、カフェを中心とした施設、「イーレ！はせくら王国」として活用しています。地場産野菜の販売、木育施設があり、旧体育館にはワイナリー、グラウンドにはキャンプ場があり、カフェが経営主体となり、それぞれの場所を転貸しています。

#### 【意見集約】

このたびは廃校の利活用について、先進地2か所を視察しました。

旧上多田川小学校の音楽技能習得施設としての活用については、平成25年から跡地利用検討会を設置し、閉校地区の全世帯を対象にアンケートを実施したとのことで、より住民との交流・コミュニティへの貢献・教育等を考慮した施設に生まれ変わり、学生が安心して学べる環境だと認識しました。

川崎町の廃校活用施設「ikuto」は、スポーツ複合施設として活用しており、高度な専門のスタッフが指導する中、多くの子どもたちがスポーツを楽しんだり、防災を学んだりしています。

また、「イーレ！はせくら王国」は、食事ができるカフェ施設や子どもたちが気軽に遊べる木育施設、地場産野菜即売所も併設しており、平日にもかかわらずかなりにぎわっていました。旧体育館もワイン工場として活用しており、充実した施設だと感じました。

本市においても、廃校の利活用について、早めに地元住民や市民のアンケートを実施して検討会を立ち上げ、交流人口・定住に貢献できるように検討を進めるべきと思いました。

## 一般質問



新風あがの  
風間 輝榮

### 仮称「寄贈お宝作品展」開催に向けて

#### 質問

これまで阿賀野市に寄贈された多くの作品が市民の目に触れる機会がない。作品を集めめた「寄贈お宝作品展」を企画する考えはあるのか。

答弁 貴重な絵画、書画、掛け軸、彫刻など数多くの作品があり、寄贈者の思いや文化的な価値を尊重し、市役所のロビーではじめ公共施設等に常設展示していく。

答弁 これまで寄贈された作品数は、どのくらいあるのか。

答弁 総作品数は371点で、内訳は絵画(水墨・水彩を含む)

真5点、書簡1点、像3点、その他69点ある。今後も、引き続き企画展示という形で計画的に寄贈品を公開し、市民の文化鑑賞機会の拡充に努める。

近隣自治会や利用団体へ説明し、それに対する参加者のからの意見としては、歩いて行ける施設、避難所となる施設として、将来的な財政負担を少なくすること、将来的な財政負担を少なくするとの両面を考えなくて必要がある。説明会で出された意見も含め、課題を共有し、何が最適解なのかを考え、取り組んでいくことが肝要であり、今後も議論を重ね、最終的な判断をしていきたい。

答弁 今後の方針案について、近隣自治会や利用団体へ説明し、それに対する参加者のからの意見としては、歩いて行ける施設、避難所となる施設として、将来的な財政負担を少なくすること、将来的な財政負担を少なくするとの両面を考えなくて必要がある。説明会で出された意見も含め、課題を共有し、何が最適解なのかを考え、取り組んでいくことが肝要であり、今後も議論を重ね、最終的な判断をしていきたい。

### に福祉会館「廃止」(案)について

#### 質問

10月28日と11月8日に開催した市民・団体への説明会では、利用者から理解を得ること



版画9点、彫刻9点、剥製4点、つぼ花瓶8点、色紙2点、写真5点、書簡1点、像3点、その他69点ある。今後も、引き続き企画展示といふ形で計画的に寄贈品を公開し、市民の文化鑑賞機会の拡充に努める。

近隣自治会や利用団体へ説明し、それに対する参加者のからの意見としては、歩いて行ける施設、避難所となる施設として、将来的な財政負担を少なくすること、将来的な財政負担を少なくするとの両面を考えなくて必要がある。説明会で出された意見も含め、課題を共有し、何が最適解なのかを考え、取り組んでいくことが肝要であり、今後も議論を重ね、最終的な判断をしていきたい。

答弁 今後の方針案について、近隣自治会や利用団体へ説明し、それに対する参加者のからの意見としては、歩いて行ける施設、避難所となる施設として、将来的な財政負担を少なくすること、将来的な財政負担を少なくするとの両面を考えなくて必要がある。説明会で出された意見も含め、課題を共有し、何が最適解なのかを考え、取り組んでいくことが肝要であり、今後も議論を重ね、最終的な判断をしていきたい。



新風あがの  
阿部 順三

### 五頭山系の害獣について

#### 質問

五頭山系の集落の空き家や畠にクマの餌となる柿の木の放置が見られる。所有者不明のものもあるが、住民の安全・安心を考えると放置しておけない。クマについての対策を伺う。

答弁 判断で緊急銃猟が可能になったが、対応できるハンターは十分かを伺う。今年はクマの餌となるブタ類が凶作で、生活圏に出没しており、40頭のクマを捕獲した。

クマは昨年比で自撃・捕獲共に約5倍になる。自撃箇所には柿の木があり、放置果実が原因である。広報紙や市ホームページで周知し、出没した自治会には結果実除去を要請している。所有者が伐採に合意した果樹は、自治会の要望により市が予算の範囲内で伐採を予定。自撃情報が囲いで発表を予定。自撃情報があつた場合、警察や獣友会など注意喚起し、箱わなの設置などで対応できるハンターは62人、うち富なハンターは22人いる。



### 河川防災訓練と令和7年度地域訓練について

#### 質問

訓練の効果と課題点を伺う。また、主要河川の点検と今後の計画について伺う。

災害時の行動を事前に確認することで災害対応力の強化が図られたとともに、人命救助訓練など緊張感のある訓練を体験してもらい、防災意識が高まった。問題点は、46自治会中26自治会しか参加が得られず、若年層の参加が少なかつた。次回は幅広い年齢層から参加してもらえるように計画する。河川整備は県が実施している。改修状況は計画どおり進んでおり、今後も県に河川整備推進を継続要望し維持整備に努める。

答弁 今後の方針案について、近隣自治会や利用団体へ説明し、それに対する参加者のからの意見としては、歩いて行ける施設、避難所となる施設として、将来的な財政負担を少なくすること、将来的な財政負担を少なくするとの両面を考えなくて必要がある。説明会で出された意見も含め、課題を共有し、何が最適解なのかを考え、取り組んでいくことが肝要であり、今後も議論を重ね、最終的な判断をしていきたい。

答弁 今後の方針案について、近隣自治会や利用団体へ説明し、それに対する参加者のからの意見としては、歩いて行ける施設、避難所となる施設として、将来的な財政負担を少なくすること、将来的な財政負担を少なくするとの両面を考えなくて必要がある。説明会で出された意見も含め、課題を共有し、何が最適解なのかを考え、取り組んでいくことが肝要であり、今後も議論を重ね、最終的な判断をしていきたい。





新風あがの  
遠藤 孝



質問 早急に観光振興基本計画（観光戦略プラン）を作成し、即座に実行してほしい。

答弁 観光協会の在り方と共に協議していく。

**阿賀野市観光振興について**

本市の観光振興の取り組みについて、現在、市の観光振興基本計画（観光戦略プラン）はあるのか伺う。

答弁 現在、観光振興基本計画（観光戦略プラン）はないが、市の総合計画に基づき観光振興に取り組んでいる。今後、観光協会の法人化に係る準備とともに、検討委員会で市や観光ビジョンや観光戦略



### 事務事業評価の運用の実態と評価体制について



新風あがの  
菅原 道明



P D C A のサイクルに合わせて進めている。行政経営においては、チェック、アクト、プランの過程を経て、絶えず事業の改善、プラットシユアップを図ることが重要と考えており、行政事務の効率化を図るとともに、それぞれの事業や施策としての効果が発現していくように今後も努める。

### 連携企画展の取り組みについて



今回の連携企画展は阿賀町との協働により、専門職員の知見の共有や広報連携など、単独での得がたい効果が生まれたことが大きな成果であります。とりわけ、阿賀野川流域に分布する両遺跡が持つ地域的関連性を提示することにより、地域間の文化的つながりを市民に認識していただけた良い契機となつたものと評価している。

### 小中学校とも実施せよ



日本共産党  
宮脇 雅夫



非正規労働者が多く、賃金も上がらない子育て世代は、物価高に苦しみながら懸命に子育てをしている。小学校だけでなく中学校も、国の重点支援地方交付金も活用して一刻も早く無償化すべきだ。

答弁 現時点では、現在実施している給食費の3分の1補助を継続していきながら、無償化を継続的に実施するための財源確保に努めるとともに、国の動向を注視しながら検討していく。

### クマの出没、捕獲対策の抜本的強化を

期待が高まっている。しかし、出動手当は1日3千円と低い。県も緊急対策として、捕獲の財政支援をすることにつながったが、対策の現状と課題について伺う。

答弁 クマの目撃情報は117件、捕獲頭数は40頭。目撲情報があつた場合、関係者と情報を共有し、住民に注意喚起を行い、状況に応じて猟友会が警戒パトロールや捜索活動、捕獲用の檻わな設置を行う。課題は、捕獲等の資機材不足や猟友会の活動報酬見直しで、今議会に条例改正（鳥獣捕獲等手当）を4千円に、緊急銃猟手当2万円を新設を上程。また、捕獲用の檻に設置するセンサー・カメラやわな作動通知機器などを導入する。

### 有害鳥獣に対する取り組みについて



公明党  
村上 清彦



質問 有害鳥獣に対する市の対策、今後の計画について伺う。

答弁 さまざまな手段で広報を行い、注意喚起を行っている。今後の計画では、鳥獣被害対策として「環境管理対策」「侵入防止対策」「捕獲・駆除対策」を基に、関係機関と連携して市民の安全確保と被害の未然防止に取り組んでいく。

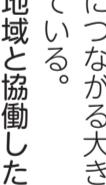
質問 本市も有害鳥獣に関する危機的な状況にあるため、農林課内に有害鳥獣に対する対策室を設け、有害鳥獣に特化した体制をとつてはいかがか。

答弁 農林課や危機管理課で連携して対応している。

### 阿賀野高校の魅力向上策について



公明党  
村上 清彦



質問 阿賀野高校は地域の将来を担う若者を育てる重要な教育機関であり、市にとって大きな意義を持つ。一方で少子化により高校を取り巻く環境は厳しく、市として魅力向上や教育活動の充実に向けた協働が必要と考える。まず、阿賀野高校の教育的・社会的価値や存在意義をどのように認識し、現状の課題をどう把握しているのか伺う。

質問 阿賀野高校は地域資源をどう把握しているのか伺う。

答弁 阿賀野高校は地域資源を活用した実践的学習により地域理解と愛着を深め、地域で活躍できる環境整備を進める。また、毎年、地元高校の存続を国に要望している。

質問 地域と協働した特色教育や魅力化施策を進めることで、市としてどのような支援や関わりを持つのか伺う。

答弁 市では、魅力向上と生徒数増加に向け、若手職員を中心とした実践的学習により地域クラブとの連携も検討中である。学長らと「地域連携コンソーシアム」設立も協議し、関係機関と連携して支援し、地域で活躍できる環境整備を進める。また、毎年、地元高校の存続を国に要望している。

質問 実施体制・頻度等について伺う。

答弁 行政活動の効率化と効果の最大化は重要課題であり、本市では、総合計画に示したまちづくりの実現に向けて、P D C Aサイクルの手法を取り入れている。初めに事業担当課が事業、施策の評価を実施する。各年度の実績を基に成果の達成度を評価しておおり、内部職員で構成する市政経営会議で確認している。頻度等は1年を単位として、

質問 事務事業評価の具体的な運用の実態と評価体制について

答弁 事務事業評価の具体的な運用の実態と評価体制について伺う。

質問 連携企画展の取り組みについて

答弁 来場者は、市内外から300人を超える幅広い世代の来場が見られ、地域の歴史や考古資料への関心の高さが確認された。

質問 小中学校とも実施せよ

答弁 学校給食無償化を求める声は大きく広がり、政府も「来年4月から実施」とすると表明。対象を公立小学校に絞って実施を検討している。市では、令和5年12月の市議会に無償化を求める請願署名2,157筆が提出され、令和6年度から3分の1を助成して

◆その他質問◆

訪問介護事業所の支援について

正（鳥獣捕獲等手当）を4千円に、緊急銃猟手当2万円を新設を上程。また、捕獲用の檻に設置するセンサー・カメラやわな作動通知機器などを導入する。

# 一般質問

福社会館の廃止方針  
安田体育館の存続



天野 市榮  
無会派



映像

福社会館について、行  
政改革推進委員会の答申で「現  
状維持、将来的には大規模改修  
の検討を行う」とことされてい  
たが、9月19日の議員全員協議  
会において市長から廃止の方針  
が伝えられた。その後、10月、  
11月に利用者説明会が、12月に  
市民説明会が現地で開催され  
た。多くの利用者（市民）から廢  
止に反対する意見や施設の変更  
は困難である旨の意見が出され  
た。私は説明会の全てに出席し、  
市長は12月の説明会に出席され  
た。多くの利用者（市民）から廢  
止に反対する意見や施設の変更  
は困難である旨の意見が出され  
た。「現状維持」から「転」「廃止」

質問 福社会館の廃止方針  
答弁 福社会館は立地も良く、  
市民の学習機会や文化活動・交  
流を促進し、生活を充実させる  
役割や自治会活動の場を担い、  
人口密集地で災害時の指定  
避難所として、位置的にも規  
模的にも代替えのできない  
地域の大切な公共施設。市  
の説明会では、利用団体や周  
辺自治会、市

質問 安田体育館は行政改革推  
進委員会の答申では「廃止検討」  
とされていたが、「一転」大規模  
改修の上、存続となつた。方  
針転換をした理由は何か。市長  
へのたより、署名集めなど存続  
を求める市民の声はあつたの  
か。

質問 災害時の対応力の確保  
答弁 災害時の対応力の確保  
向上を図る必要があるなどの理  
由で、市長として判断した。

質問 行政改革推進委員会の答  
申を重視した一方で、市民の声  
を軽視した結果、政局になつて  
大失敗した事例を紹介したい。  
福社会館の代替施設の一つとし  
て示された「瓢湖憩の家」は、私  
たち。あがの市民病院人間ドック  
受診者に対する3,000ポイント付与も今年度末で終了する  
が、周辺市町より高い自己負担  
を軽減する意味でも廃止せず存  
続すべき。



清水 博英  
日本共産党



映像

福社会館の廃止方針  
案を撤回し存続を

質問 福社会館は立地も良く、  
市民の学習機会や文化活動・交  
流を促進し、生活を充実させる  
役割や自治会活動の場を担い、  
人口密集地で災害時の指定  
避難所として、位置的にも規  
模的にも代替えのできない  
地域の大切な公共施設。市  
の説明会では、利用団体や周  
辺自治会、市

質問 いきいきボランティア  
支援事業は、市が社会福祉協議会  
へ委託し、小学校登下校の見守  
りなど各種事業を行つてている。  
今年度末でポイント付与が廃止  
となるが、ポイント付与対象事  
業やポイント数を見直すことも  
検討し存続を望む声もある。ま  
た、あがの市民病院人間ドック  
受診者に対する3,000ポイント付与も今年度末で終了する  
が、周辺市町より高い自己負担  
を軽減する意味でも廃止せず存  
続すべき。

質問 説明会では、方針案とし  
て市の考えを説明した。あくま  
でも決定ではなく、市民の声を  
聞いて廃止方針案を撤回し、改修・  
存続すべき。

質問 いきいきボランティア  
支援事業ならびに人間ドックのポイント  
付与事業を継続せよ

質問 いきいきボランティア応  
援事業は、市が社会福祉協議会  
へ委託し、小学校登下校の見守  
りなど各種事業を行つてている。  
今年度末でポイント付与が廃止  
となるが、ポイント付与対象事  
業やポイント数を見直すことも  
検討し存続を望む声もある。ま  
た、あがの市民病院人間ドック  
受診者に対する3,000ポイント付与も今年度末で終了する  
が、周辺市町より高い自己負担  
を軽減する意味でも廃止せず存  
続すべき。

質問 ポイントを使用できる加  
盟店の減少傾向が続き、これ以  
上の波及効果が見込めず、事業  
を判断した。人間ドック受診者  
に對し、ポイント付与をインセ  
ンティブとした受診者増加の取  
り組みは、十分目的を達成した  
と捉えている。今後も、継続し  
て人間ドックを受けてもらえる  
ような取り組みを行つていただき  
たい。

◆その他の質問◆  
2 1 地域計画とほ場整備  
地域ポイント事業の終了

質問 政府による非核三原則見直し発  
言と阿賀野市の平和行政推進に  
ついて

質問 国は「世界で最も厳しい基準」と  
整つていると思つ」という理由を付し  
て回答した。

質問 再生産が可能な価格水準と、良質な国産食料が合理的な  
価格で安定的に供給されるよう、国が責任を持つべきだ。  
だが市長の見解を伺う。



松崎 良繼  
日本共産党



映像

再稼動について  
柏崎刈羽原発

質問 市長は新潟日報のアン  
ケートで「再稼動の条件は現状で  
整つているか」について「どちら  
かといえばそう思う」と回答して  
いるがどのよくな考え方からか。  
原子力規制委員会の厳し  
い審査に合格していることを  
整つていると思つ」という理由を付し  
て回答した。



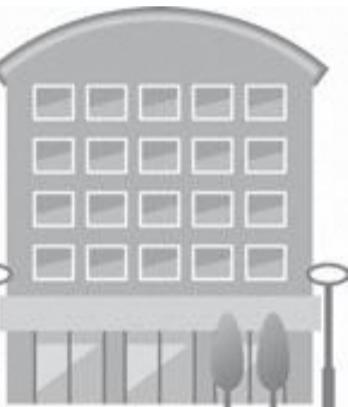
質問 市場任せのコメ政策と減  
産誘導を転換し、国が需給と価  
格安定に責任を持つことが急務  
だが市長の見解を伺う。

質問 小規模の基盤整備事業の  
要望も出ているが、所有者の同意  
が難しくなっている。市の上乗せ  
助成を求める声があり検討を。

質問 総務省のマニュアルでは、経験年数分の号給を加える  
ことが望ましいとされている。  
昇給する制度に改めるべきだ。  
昇給については、「客観的  
な能力の実証」及び「勤続による  
能力の向上」を指標として判断す  
る必要があると考へ、県や他市  
の状況を注視し、検討していく。

質問 福島事故は想定外の津波  
に襲われるなどで起きた。そ  
ういうものを含めてたび重ねて改  
定して厳しい基準にしてきたん  
だろうと思つ。

質問 バス停を増やすことが新  
方式成功の要だ。  
質問 バス停を増やすことが新  
方式成功の要だ。  
質問 上乗せ助成は他市の状況  
などを参考に検討していく。



○一般質問は1人当たり60分の持ち時間の中で、質問と答  
弁のやり取りが繰り返されます。議会だよりに掲載して  
いる内容は質問議員がまとめたもので、要旨を掲載して  
います。

○議員氏名左側の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、市ホームページの市議会映像配信のページで、  
その議員の定例会での一般質問のやり取りが視聴できます。

○一般質問の詳細については、会議録または市ホームページでご覧いただけます。12月定例会分は3月中旬に公開予定です。会議録は、市立図書館、各支所、市役所1階ロビーに用意してあります。



## 次回3月定例会の予定

2月18日の議会運営委員会で正式に決定します。  
その後、市ホームページ・市公式LINEでお知らせします。

月 日	会 議 名
2月18日(水)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
2月25日(水)	本会議 (施政方針、議案上程、一般質問)
2月26日(木)	本会議(一般質問)
3月 4日(水)	本会議(一般質問)
3月 5日(木)	総務文教常任委員会
3月 6日(金)	産業厚生常任委員会
3月 9日(月)	予算審査特別委員会
3月10日(火)	
3月11日(水)	
3月13日(金)	本会議(委員長報告、採決)

## 阿賀北五市議会議長会連絡協議会

11月20日、亀田屋(保田)で阿賀北五市議会議長会連絡協議会の議員研修会が開催されました。阿賀野市での開催は8年ぶりとなり、新発田市、村上市、胎内市、五泉市、阿賀野市の正副議長、議会運営委員会・各常任委員会の正副委員長、議会事務局長等49人が出席しました。

この研修会では、安田瓦協同組合の遠藤和人理事長から「瓦の話」と題し、安田瓦のみならず瓦全般について詳しくご講演いただきました。

また、研修会終了後の意見交換会では、京ヶ瀬ベンチャーズの皆さんによる軽快な演奏が披露されました。



## 地 | 域 | 防 | 災 | 訓 | 練

10月5日、水原総合体育館や市役所駐車場で、水原小学校区の市民を対象に、震度6強の地震が発生したことを想定した地域防災訓練が実施され、市議会議員も参加しました。

自治会避難訓練や避難所開設設営訓練、救急講習、救出訓練のほか、初めてペット同行避難訓練や自衛隊・日赤奉仕団によるカレーライスの炊き出し訓練も行われました。

参加した市民の皆さんも訓練や講習に真剣に取り組んでいました。



## ようこそ阿賀野市へ 行政視察受け入れ

- 10月27日に兵庫県議会文教常任委員会の皆さまが来庁され、「中学生及びクラブ指導者中体連及び吹奏楽連盟主催の大会参加費補助」について研修を行いました。本市学校教育課担当者から説明を受けました。
- 10月28日に北海道名寄市議会市政クラブ(会派)の皆さまが来庁され、「道の駅あがの整備事業」について研修を行いました。本市商工観光課、建設課の担当者から説明を受け、「道の駅あがの」の見学を行いました。
- 10月29日に青森県おいらせ町議会産業民生常任委員会の皆さまが来庁され、「観光資源の活用」について研修を行いました。本市商工観光課、公園管理事務所の担当者から説明を受け、瓢湖水きん公園の見学を行いました。
- 11月4日に神奈川県川崎市議会健康福祉委員会の皆さまが来庁され、「地域福祉計画」について研修を行いました。本市社会福祉課、健康推進課の担当者から説明を受けました。



道の駅あがので説明を受ける  
名寄市議会議員



コミュニティセンター瓢湖憩の家で  
説明を受けるおいらせ町議会議員

## 阿賀野高校生との懇談会を開催しました

11月5日、未来の阿賀野市を支えていく若い世代の意見を聴くため、阿賀野高校生との懇談会を開催しました。

当日は、3年生22人と広報広聴委員等8人が参加し、4班に分かれワークショップ形式による意見交換を行いました。

事前に阿賀野市の特徴や人口推移などの資料を渡し、用意したテーマに沿って、意見を出し合いました。出された意見や要望を付せんに書き出し、テーマごとに振り分け、班ごとに発表し全体で共有しました。

懇談の中で生徒からは、「話を真剣に聞いてくれ、また問い合わせてくれて良かった」「自分の住むまちをより良くするために自分から行動したい」「若者が集まれる場所づくりや子育て支援に力を入れてほしい」など、多くの感想や意見が出されました。

市議会として、今後も若年世代の声に耳を傾ける場を確保するべく、改善を加えながら引き続き取り組みを進めていきたいと考えています。

なお、今回懇談した生徒が、12月8日「政治・経済」の授業で、本会議を傍聴しました。



発行：阿賀野市議会  
編集：広報広聴委員会  
〒959-2092  
阿賀野市岡山町10番15号  
TEL: 0250-61-2489  
FAX: 0250-61-2067  
E-mail: gikai@city.agano.niigata.jp

問い合わせは  
コチラから ➤



次号は令和8年3月31日発行の  
予定です。

副委員長  
阿天荒遠清風清松  
委員長  
部野澤藤野間水崎  
順市浩栄輝博良  
三榮和孝一榮英繼

広報広聴委員会  
編集委員  
遠藤孝

これからもあがの市議会だよりが、  
より見やすく、分かりやすい紙面の作  
成に向け、広報広聴委員会として取り  
組んでまいりますので、よろしくお願  
いいたします。

9月定例会後のさまざまな議会活動  
を紙面に掲載させていただきました。  
その中で、初めての取り組みとして  
阿賀野高校3年生と市議会議員の懇談  
会を開催し、若い世代の貴重な意見を  
聴くことができました。今後、委員会  
等で協議して市政に反映していくた  
いと思います。

謹んで新春のお慶びを申し上げま  
す。

編集後記

